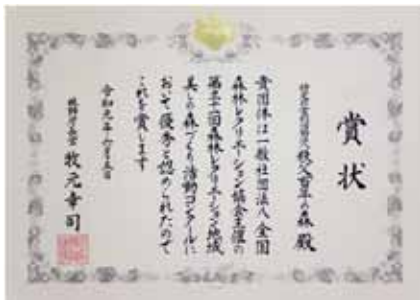




秩父百年の森通信

第31回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクール林野庁長官賞受賞

6月5日、埼玉県から推薦されていた第31回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクールの表彰式がおこなわれ、林野庁長官賞を受賞しました。



左：林野庁 本郷浩二長官
中央：坂本理事長
右：(社)全国森林レクリエーション協会 三浦雄一郎会長

広葉樹遺伝子攪乱を防ぐ「植樹は種から」

理事長 坂本 裕三

埼玉県秩父市の森林面積は、市の87%を占め、産業、暮らし、教育にとってこれからも大きな役割が期待されています。

荒川源流秩父の水源の森の森林整備活動および森と街を繋ぐ交流活動、森に学ぶことを主題としての環境教育支援活動、森を活用した地域活性化事業に取り組み、地域と未来の森林のために植林活動を続けています。

私たちは豊かな森林を保全していくために、山と里と都市の人々の連携を創造し発展させることが必要であると考え、春は都心の人たちと自然観察会を楽しみながら、種採取のための開花状況を調査しています。秩父市荒川地区に苗畑5か所(5720㎡)を借り受け、育苗に取り組んでいます。苗畑の管理は雑草との格闘であり、重労働です。また、苗を系統的に育て管理することは、私たちの経験を豊かにし、植林活動にも欠かせないものとなっています。

地域在来のブナ、ミズナラ、カエデ等の有用広葉樹の苗を種子や実生から育て、県有林や市有林などの植林活動に役立ててきました。国産材の利用が期待される中で、現在多くの山林での伐採が進められていますが、伐採後の再生林のためには、地域に根ざした有用な広葉樹の苗を安定的に育て、供給することが不可欠です。

イタヤカエデの根巻き

私たち NPO は地域の山主と秩父樹液生産協同組合を立上げ、間伐地



に植林したカエデは落葉広葉樹として針広混交林へ誘導し、30年後にはカエデ樹液による地域特産品として活用することになっています。寒暖の激しい秩父地域はカエデの生息に適しており、この地域に多く生育するカエデから、早春の一時期仄かに甘い樹液を採取。メープルシロップの原料カエデ樹液は、木を伐ることなく毎年採取することができる森林資源であり、豊かな森林を維持することによってはじめて成立する、環境共生型の森林資源です。建築素材生産に重点を置いてきたこれまでの「伐る林業」とは異なり、消費者と直結した新たな森林ビジネスモデル「伐らない林業」として、カエデ樹液を新たな地域の森林資源と位置づけ、林業の再生と森林の保全という二つの考え方のもとに、毎年、シカの食害に耐えられる2メートル以上の7、8年生苗のイタヤカエデを中心に間伐地に「未来の森づくり」として、伐採から家の柱までトレーサビリティ(QRコード)なスギ、ヒノキ材として利用して頂いている建築関連メーカー、家を建てたお客様と一緒に植林を続けています。



未来の森づくり

森林の食利用ともいえるカエデ樹液は、メイトー・協同乳業(株)により「ちちぶもりのめぐみ」シリーズ「和メープル」プリンとして全国へ販売され、売り上げの一部が森づくり基金として還元されています。

秩父のこれからの森づくりは、埋土種子やカエデ、カンバ類、サワグルミなどの散布種子による天然更新樹を保全しながら、ブナやミズナラなど堅果類の植栽を計画的に進めるとともに、針葉樹林の配置により、多様で高蓄積の天然林へ誘導できればと考えています。



● 埼玉県と共同研究が始まりました

糖度が高く、美味しい樹液が多く採取できる優良木を育てる試みが、埼玉県森林研究室と弊会との共同研究が始まりました。



■ 苗を育てる

適時、下草刈りや植え替えなどの整備作業を行いました、本年は雨や高温の影響でスケジュール通りに作業が出来ずにいましたが、8月は2度一人の方に負担をかけ行いました。



秋には植樹用の苗を掘起こしと根巻き作業を行いました。大きな苗は鹿に食べられないメリットがありますが作業は大変！



1号畑のドングリから育ち、大きくなり過ぎたコナラを枝切り・根切りをして3号畑へ移植しました。



1号畑で元気がなくなったキハダの苗を、大滝樋打の空いた畑を借受け移植しました。



種の採取 2018年10月6日

育苗のための種の採取しました。トチ600粒、イヌブナ240粒、ヒナウチワカエデ80粒を採取。ミズナラは中津川流域でも不作で採取はできませんでした。(許可を得て行っています)



イヌブナ



イヌブナ



イヌブナ



ヒナウチワカエデ



3月ヒナウチワカエデ発芽



3月イヌブナ発芽

実生苗採取 2019年6月23日

川原で発芽した苗は増水でながされるなど育つことはまれです、育ったとしても川の流れを阻害するので伐採されます、そんな実生苗を丁寧に持ち帰り大きく育て山へ帰します。ブナ18本、シオジ7本、カエデ類8本(イタヤカエデ6本)、その他30本、合計63本の採取を行いました。

(関係機関の許可を得て行っています)



■ ふたばの森づくり

2018年11月3日

植樹準備の下草刈り地拵えを行いました。



2018年11月17日

園児52名やNPOメンバー8名など総勢79名でイロハモミジ、イタヤカエデを98本を植樹しました。今回は“和メープルプリン”のメイトー協同乳業(株)から6名が参加、園児たちには美味しいプレゼントがあり大きな歓声があがりました。



2019年7月27日

下草刈りをを行いました。子供たちが植えた木は順調に育っています。



■ 未来へつなぐ森づくり

2018年10月27日

植樹準備の下草刈り地拵えを行いました。



2018年11月9日

植樹する苗の移送を行いました、大きく育った苗を4人がかりで運びました。



2018年11月11日

東京のハウスメーカーのユーザーの皆様など総勢33名でイタヤカエデ30本を植樹





2019年5月15日

昨年、植林した苗は36本のうち33本が生育しております。ネットを飛び越え侵入したシカに低木が被害にあっています。



■ 山吹沢県有林の森づくり

山吹沢は工事の影響で通行止めが続いていました。石坂氏の巡回報告からNPOが担当した範囲の山は順調に回復しています。



■ 原石山水源の森づくり

石坂氏の巡回報告、エリアによる生育のバラつきがあります。

- ・1号地は順調に
- ・2号地はゆるやかに
- ・3号地は水不足かな？



■ 千鹿谷郷ひなた村支援プロジェクト

秋には柚子を収穫し、絞って柚子酢、刻んで柚子ジャム、春には山椒の新芽を摘んでの佃煮、実がついたら青山椒とじゃこでちりめん山椒を試作、ひなた村のみなさんと楽しみながら、四季折々の素材を活かした支援を試みています。



■ かえで樹液支援プロジェクト

本年のカエデ樹液採取は暖冬の影響で苦戦、採取総量は約8 t と例年以下でした。



テレビ朝日「ごはんジャパン」 2019/3/30

◆日テレ「遠くへ行きたい」 2019/3/17

レストラン タテルヨシノ 銀座のオーナーシェフ吉野さんとの浅香唯さんと樹液採取現場へ行き、樹液採取を体験、MAPLE BASE で吉野シェフのメープル料理を堪能

カエデ樹液からメープルシロップへの取り組みが放送されました、当 NPO スタッフも登場しました。



●環境学習支援

日本薬科大学 BP 2019/5/19

入川溪畔林を歩きながら、環境と森林資源と森林保全について解説しました。

◆秩父サイエンスアカデミー 2019/8/9

小学校5年生・6年生へ地球環境問題と森の働きと酸性雨を学び、酸性雨の実験の支援を行いました。



<募集>次号会報やホームページへの投稿を募集します、作業へ参加時の感想や山への思い、また俳句や短歌やポエムなども募集しています。

<会員募集>

豊かな森がいつまでも続くように、いま山の人、里の人、街の人たちが共にかかわることがとても大切になっています。私たち NPO 秩父百年の森は、4つ活動(1)山村と都市との交流促進に関する事業、(2)持続可能な森林・林業モデルの形成に関する事業、(3)環境教育支援に関する事業、(4)地域活性化ビジネスモデルの形成に関する事業、を通して森とかかわり、森を生かす試みを行っています。私たちと一緒に活動してみませんか。

メールアドレス: info@faguscrenata.com までご連絡ください。

<お便り募集>

会員の皆さんからご意見、ご感想、活動原稿をお待ちしております。

メールアドレス: info@faguscrenata.com

特定非営利活動法人 秩父百年の森
〒368-0035

埼玉県秩父市上町3丁目6-6